

2017（平成29）年度 事業実績報告書

2017（平成29）年4月1日から2018（平成30）年3月31日まで

特定非営利活動法人 おきなわCAPセンター

1 事業の成果

2017年度は、提供事業、学習啓発事業、ネットワーク事業を通じて子ども支援に携わる団体や関係機関との連携をさらに深めることができた年となった。提供事業としては、思春期向けプログラムを那覇市、宜野湾市で継続して実施することができている他、うるま市においても実施することが出来た。また宜野湾市においてはベーシックワークショップを実施することもできた。また、沖縄県からの委託事業である子どもの虐待防止のための講演会・研修会および児童養護施設職員向けの研修会は6年目となり、県内で虐待防止および社会的養護の子ども達の支援に向けた意識、啓発が浸透している。さらには、110年ぶりの法律改正も行われた本年、性犯罪被害者支援のワンストップ相談支援員養成講座の委託も受け、さらなる発展の1年となった。

(1) 子どもへのCAPワークショップ（暴力防止プログラム）等提供事業

66回のワークショップ提供

年々ワーク数が減少している中、2017年度は、子どもワークショップ43回、おとなワークショップ23回、合計66回提供することができた。学校からの申し込みが年々減少する中、市町村との協働で行う事業は着実に継続できている。6年目の北中城村（児童虐待防止緊急対応強化事業・北中城幼稚園及び村内2小学校、子どもWS計14回）、4年目の宜野湾市（デートDV予防啓発出前講座・宜野湾市立中学校4校）からの委託も順調に継続されている。また、宜野湾市においては昨年度実施していたスペシャルニーズプログラムより、ベーシックプログラムの実施への変更がなされたが、初年度実施となる今年度中に市内の約半数である5校（子どもWS20回、SNP2回：計22回）で実施することが出来た。その他、「安全講話」については、保育園単独の依頼の他、うるま市からも受け実施することができ、依頼先からはよい反応があがっている。また、うるま市内においては学童や児童センターからも依頼を受け、子どもワークショップ（7施設、子どもWS計8回）を実施した。

デートDVの予防・啓発の取り組み

デートDV防止の取り組みとして、那覇市（「思春期の心と体」のための意識啓発事業）では、全17中学校、宜野湾市（「デートDV予防啓発出前講座」）においても全4中学校にて「思春期の心と体プログラム」を実施。那覇市においては、本プログラムの実施を3年間続けていることから、各学全校生徒に同一内容のプログラ

ム提供を行うことが出来た。思春期の子どもが自分の心と体を大切にするという視点とデートDVについての情報と相談機関を伝えた。そのほかにも、うるま市、児童養護施設、などでも同一のプログラムを実施し、中学校だけで26校、約4500人の中学生にCAPの考えをベースにつくられた思春期プログラムを届けることができた。また、本プログラムを導入するにあたり協働で研修会を実施した「Weぷらんにんぐ」からも依頼を受け、浦添市内の中学校5校および首里東高校においてもCAPメンバーを派遣し、実施することが出来た。

児童養護施設等へのワークショップ

沖縄県青少年・子ども家庭課の委託を受け「児童養護施設職員等資質向上支援事業」による職員向けの研修を実施。6年目となる今年度は、これまでに実施したワークショップやまた、前年度末に行った振り返り会を受けて「どうなる？どうする？思春期の子ども達」プログラムを開発し、児童養護施設を退園していく子ども達の自立支援の在り方について事業を提供した。全職員が同じ研修を受講し、共有できるよう時間帯や開催日をずらして、1施設あたり2回に分けて実施した。また、昨年度まで実施に至らなかった、児童自立支援施設若夏学院でも「守ろう！安心・自身・自由—子どももおとなもイイ関係—」を実施し、体罰に頼らない支援のあり方について情報提供をすることが出来た。

(2) ワークショップ提供のための人材育成事業

県内外への研修派遣

県内で行われた各種研修会、講演会へメンバーを派遣。それぞれがスキルアップに努め、ワークショップを実施する際の内容に取り入れることもできた。また、沖縄県子ども虐待防止推進事業の一環として、千葉県で開催された日本子ども虐待防止学会にも職員を派遣することが出来た。

定例会・練習会

定例会、練習会はメンバーの資質向上だけでなく、2014年度に誕生した新規メンバーをワークショップに派遣する前の練習会等として活用。練習会については、ワークショップ開催前などその都度、必要に応じて実施し、新規メンバーの活躍の場の提供につなげた。またおとなワークショップの内容やプログラム検討会議を随時開いた。親睦を深めチームワークを強化できる機会ともなった。

(3) 子どもへの暴力防止についての学習・啓発事業

子ども虐待防止推進事業

沖縄県からの委託事業による6年目となる本事業では、広く県民に子ども虐待問題について周知することに努め、8か所で講演会や講座を企画、運営を行った。内

容だけでなく、運営についても周囲から高い評価を得ることができた。講師は、ルポライターの杉山春さん、一般社団法人自己尊重プラクティス協会の手塚千砂子さん、育児漫画家の高野優さん、一般社団法人 Spring の山本潤さん、社会福祉法人恩賜財団母子愛育会・愛育研究所の山本恒雄さんを招聘し開催した。山本恒雄さんの研修会に関しては、児童相談所からのニーズもあり当初予定していなかった、児童相談所の職員向け研修会も追加で実施することが出来、非常に好評であった。また、昨年度同様、本事業内にCAPおとなワークショップも含め、当センター初となる与那国町で開催した。

(4) 地域ネットワーク事業

行政、民間団体とのネットワーク強化

地域ネットワーク事業は例年通り、副代表および事務局が「子ども子育て会議」、「那覇市要保護児童対策協議会代表者会議及び実務者会議」、「那覇市子ども政策審議会」「那覇市子ども政策審議会指定管理者選定部会」など各種会議に出席し、子どもを支援する関係機関との連携を図った。また、以前参加していた「九州・沖縄子どもネットワーク会議」では、実行委員会議の他、イベント当日は運営にも積極的に参加し、おきなわCAPセンターの広報活動および他団体との連携も行った。

インターンシップ、フィールドワーク等の受け入れ

那覇看護専門学校からインターンを受け入れ、学生たちにCAPの活動内容や子どもへの虐待について説明をする他、つうしんや虐待防止講演会の広報発送作業、おとなワークショップ等に参加してもらい、子ども虐待防止活動と子どもの人権について伝えた。他にも、ぐしかわ看護専門学校の学生をフィールドワークで受け入れた。将来、医療現場に携わる学生たちへエンパワメントの考え方、支援の在り方、CAPの理念と活動を伝えることができた。

児童養護施設職員等資質向上支援事業

CAPワークショップ提供（詳細は提供事業に記載）の他、児童養護施設職員を対象とし、外部講師を起用して支援ケースについて検討する、SV（スーパーヴァイズ）研修事業を実施した。講師には前年度も起用した竹沢昌子さん、島袋裕美さん、砂川純子さんに加え、名護療育医療センター付属育ちのクリニック院長勝連啓介さんを起用し実施した。臨床経験を元に支援方法を提示することは、参加者にも非常にわかりやすく、好評であった。また、昨年度も大変好評であった施設側のニーズに応え性教育に関する情報提供を行うため、リアライズYOKOHAMAの橋本明子さんを迎え、施設職員だけではなく子どもたち向けにも性教育の講話を開催。さらには、思春期・青年期の理解と支援を目的とし、宇部フロンティア大学臨床教授の小栗正幸さ

んをお招きした研修会も開催し、より専門性を高める情報提供を行うことができた。

性暴力被害者ワンストップ支援センター相談支援員養成研修

2014年度に委託を受けた同研修会は、2015年度は休止していたが、2016年度より当センターへの再委託となった。2015年2月より沖縄県性暴力被害者ワンストップ支援センターがスタートし、本研修会では24時間365日の運営に向け相談支援員を増員することを目的として実施した。講師には、沖縄県内で従事している方との連携を強化したいとの主催者側の要望を受け、昨年同様沖縄県や県警、看護協会その他、強姦救援センターREICOの代表高里鈴代さん、県立中部病院産婦人科医の三浦耕子さんの他、今年度新たに、さよウィメンズクリニック院長の竹下小夜子さん、県立北部病院の小児科医佐々木尚美さん、こころ法律事務所の村上尚子さん、コザ児童相談所の後野哲彦さんを招聘して行った。また、広く広報啓発を行うことを目標として、初回にはレジリエンスの中島幸子さんをお招きし、講演会も開催。さらには昨年度同様、性暴力救援センター大阪 SACHICO より加藤治子さん、原田薫さんをお招きし、具体的な支援方法について情報提供を行った。今後、県立中部病院内に本センターが開設されることから、開催地もこれまでの那覇市ではなく、北谷町で開催した。

ご入学おめでとう大会への講師派遣等

沖縄タイムス社主催の「ご入学おめでとう大会」（浦添市、うるま市、名護市全3回）へメンバーを派遣して新1年生とその保護者へ「自分を大切にする」というテーマで講話した。新しい環境に入る前の不安な気持ちを和らげるとともに、子どもの気持ちを受けとめ、話を聴くことの大切さを伝えた。

(5) 会報等の発行事業

活動の報告を兼ねた『CAP つうしん』つうしんを2回（7月と1月）発行し、会員と関係機関へ届けた。また、インターネットを活用して、ホームページとフェイスブック、事務局長ブログを随時更新し、講座や講演会、ワークショップの案内や報告を行うなどの情報発信に努めた。

そのほかメディア：マスコミ等への対応

機関紙『けーし風』へ、子ども支援に関する原稿を寄稿した他、自治問題に関する話題に対し、取材依頼があった際には、適宜対応を行った。

(6) その他、目的を達成するために必要な事業

なし

特定非営利活動に係る事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施場所	従事者数(人)	受益対象者(人)	支出額(千円)
子どもへのCAPワークショップ (暴力防止プログラム) 提供事業	小学生ワークショップ	26回 @宜野湾市：嘉数小学校(1年：5クラス)、大謝名小学校(1年：3クラス)、普天間第二小学校(2年：4クラス)、普天間小学校(5年生：3クラス) @北中城村：島袋小学校(2年生：2クラス、5年生：2クラス)、北中城小学校(3年生：4クラス、6年生：3クラス)	78	793	1,426
	就学前ワークショップ	4回 相愛幼稚園(1クラス) 北中城幼稚園(3クラス)	20	119	
	中学生ワークショップ	—	0	0	
	スペシャルニーズプログラム	4回 沖縄高等特別支援学校(2クラス)、大山小学校特別支援学級(低学年、高学年：計2クラス)	12	84	
	その他	9回 @児童養護施設：美さと児童園(就学前、小学生)、愛隣園(就学前、小学生) @児童センター：いしかわ児童館、みどり町児童センター、なかきす児童センター、きむたか子どもセンター、屋慶名児童館	27	263	
	思春期プログラム	26回 @那覇市中学校：17校(仲井真、城北、真和志、首里、神原、小禄、那覇、寄宮、上山、松城、古蔵、金城、松島、安岡、石田、石嶺、鏡原)、 @宜野湾市中学校：4校(普天間、嘉数、宜野湾、真志喜)、 @うるま市中学校：3校(あげな、伊波、石川) @児童養護施設：2か所、美さと児童園、愛隣園	60	4741	
安全講話	2回 はるゆめ保育園、平敷屋幼稚園	4	167		
おとなへのCAPワークショップ 提供事業	おとなワークショップ(保育所、幼稚園、学校)	9回 相愛幼稚園、沖縄高等特別支援学校、宜野湾5小学校(嘉数、大謝名、普天間、大山、普天間第二)、北中2小学校(北中城、島袋)	27	161	
	教職員ワークショップ	2回 北中城幼稚園、みどり町児童センター	6	39	
	その他 連携機関、大学、児童養護施設等	30回 県内8児童養護施設15回、児童自立支援施設2回、愛隣園2回、里親会2回、沖縄国際大学2回、はるゆめ保育	70	450	

		園、あげな自動車学校、平敷屋幼稚園、北中城子育て支援センター、嘉手納町、恩納村、与那国町			
	主催ワークショップ	—			
	本の販売	適宜 県内			
人材育成事業	研修派遣	適宜			
	研修派遣	県外 2回 CCJ主催研修(5月) 日本子ども虐待防止学会(12月)		2	
	内部研修	適宜		20	
	定例会	適宜		40	
子どもへの暴力防止についての学習啓発事業	公開講座	0回			5,483
	沖縄県子ども虐待防止推進事業	8回 ・杉山春講演会@名護 ・手塚千砂子講演会@石垣、宮古島 ・高野優講演会@那覇 ・山本潤講演会@うるま市 ・山本恒雄研修@市町村、児相職員 ・CAPワークショップ(与那国市)	37	853	
地域ネットワーク事業	地域ネットワーク会議	15回 ・那覇市要保護児童対策協議会代表者会議及び実務者会議(4回) ・那覇市子ども政策審議会(1回) ・那覇市子ども政策審議会指定管理者選定部会(2回) ・沖縄県子ども子育て会議(2回) ・九州・沖縄子どもネットワーク会議(6回)	45	—	5,464
	インターン受け入れ	5回 ・那覇看護専門学校(4回) ・ぐしかわ看護専門学校フィールドワーク		30	
	児童養護施設職員等資質向上支援事業	・県内8施設に講師を派遣し、スーパーヴァイズ研修のコーディネート ・性の健康教育(橋本明子) ・思春期青年期理解(小栗正幸) ・SV研修(竹沢昌子、島袋裕美、砂川純子、勝連啓介)	21	290	
	性暴力被害者ワンストップ支援センター相談支援員養成講座	全8回(会場:北谷町内) 前半1回目:高里鈴代、金城真、中島幸子 前半2回目:三浦耕子、竹下小夜子、加藤治子 前半3回目:佐々木尚美、村上尚子、原田薫 前半4回目:久保田康愛、後野哲彦 後半1~4回:原田薫	35	327	
	その他	5~12月 WeぶらんにんぐデートDV防止講座協力(浦添市5中学校、首里東高校) 1~3月 タイムス入学おめでとう大会(名護市、沖縄市、浦添市)	15	2000	

会報等の 発行事業	会報の発行	年2回	2	600	37
	ホームページ	随時 事務所			
	その他メディア	『けーし風』連載(2回) マスコミ対応(適宜)	3		
その他、 目的を達成 するために必要 な事業	なし				

※上記事業のほか、総会1回、理事会2回 事務局会議30回、労務・税務など。